



2024年3月期 第2四半期 決算補足説明資料

第78期（2023年4月～2024年3月）

2023年11月2日
大石産業株式会社
（証券コード：3943）

1 . 会社概要

2 . 2024年3月期 第2四半期 決算概要

3 . 2024年3月期 業績予想

4 . 株主還元

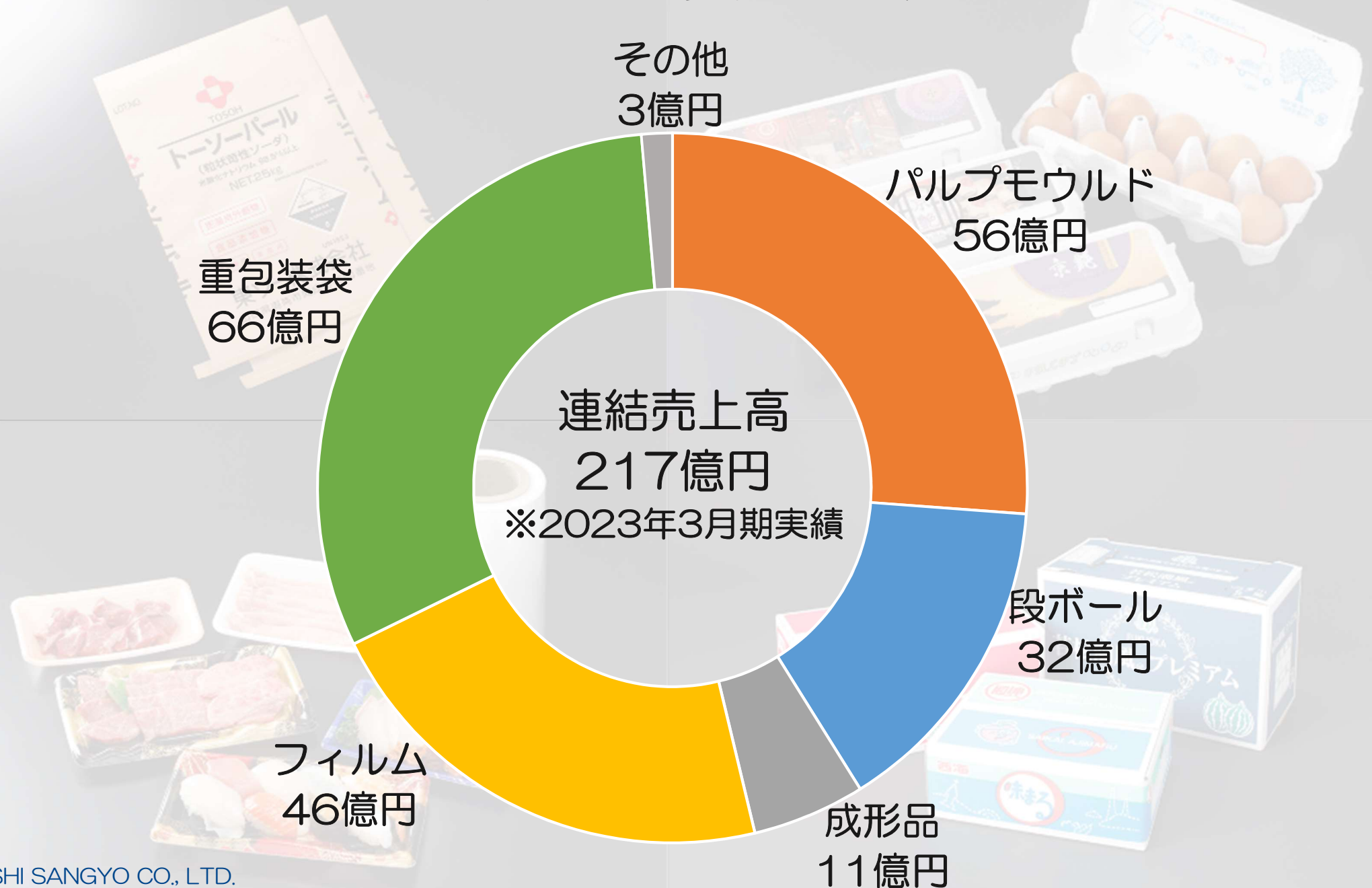
5 . 補足資料



1. 会社概要

「つつむ大石産業」

包装資材の総合メーカー



緩衝機能材事業

- パルプモールド
鶏卵トレー等 (畜産用)
青果物トレーおよびポット (農業用)
輸送用緩衝材 (工業用)
- 段ボール
段ボールケース (農畜産用、食品用、工業用)
段ボールシート (製函用)
- 成型品
食品トレー、ゆりかご (食品用)



包装機能材事業

- フィルム
ポリスチレンフィルム (食品用、工業用)
キャスト製法プラスチックフィルム (食品用、工業用)
- 樹脂袋
重包装ポリエチレン袋 (肥料用、合成樹脂用、化学薬品用)
- 重包装袋
大型クラフト紙袋 (合成樹脂用、化学薬品用、製粉用、飼料用)
ラミネート製品 (大型クラフト紙袋用) 他



2. 2024年3月期 第2四半期 決算概要

前年同期比＜増収減益＞

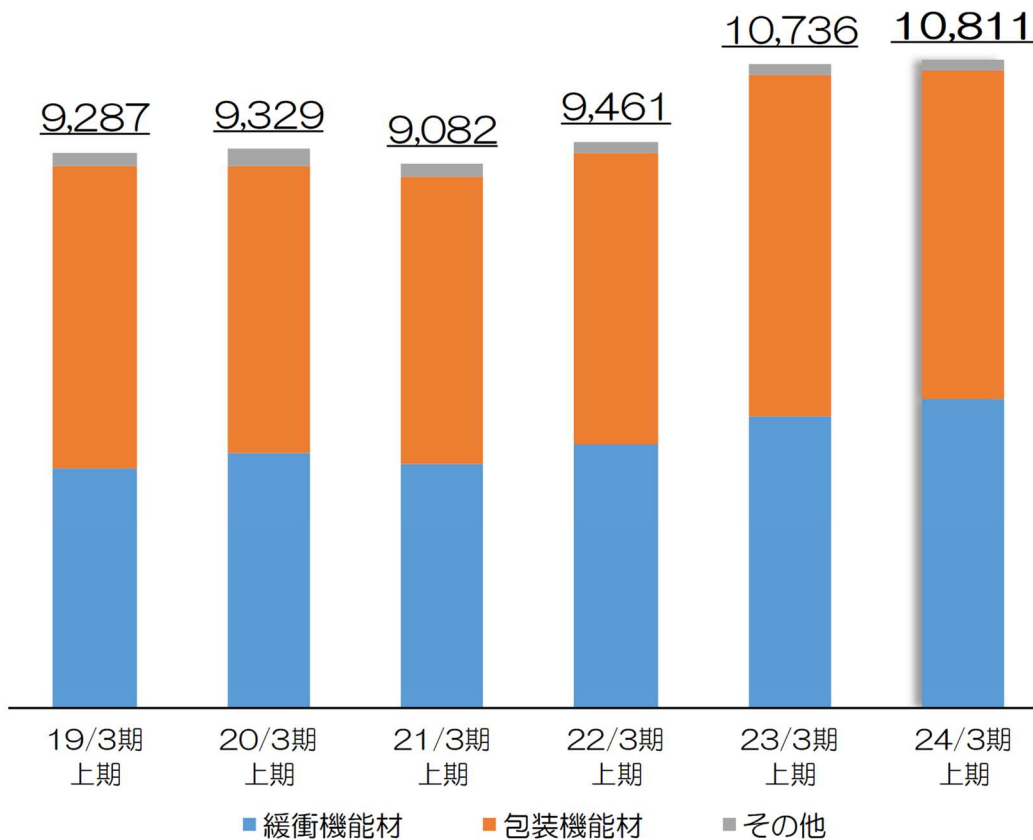
- 売上高は、原燃料価格の高騰に対処するための販売価格修正の効果に加え、衛生材料向け及び自動車向けキャストフィルムの拡販、パルプモールド製食品容器の拡販等により増収となりました。
- 利益は、販売価格修正の効果はあったものの、各製品の販売数量の減少と製造固定費の増加等により減益となりました。

（単位：百万円）

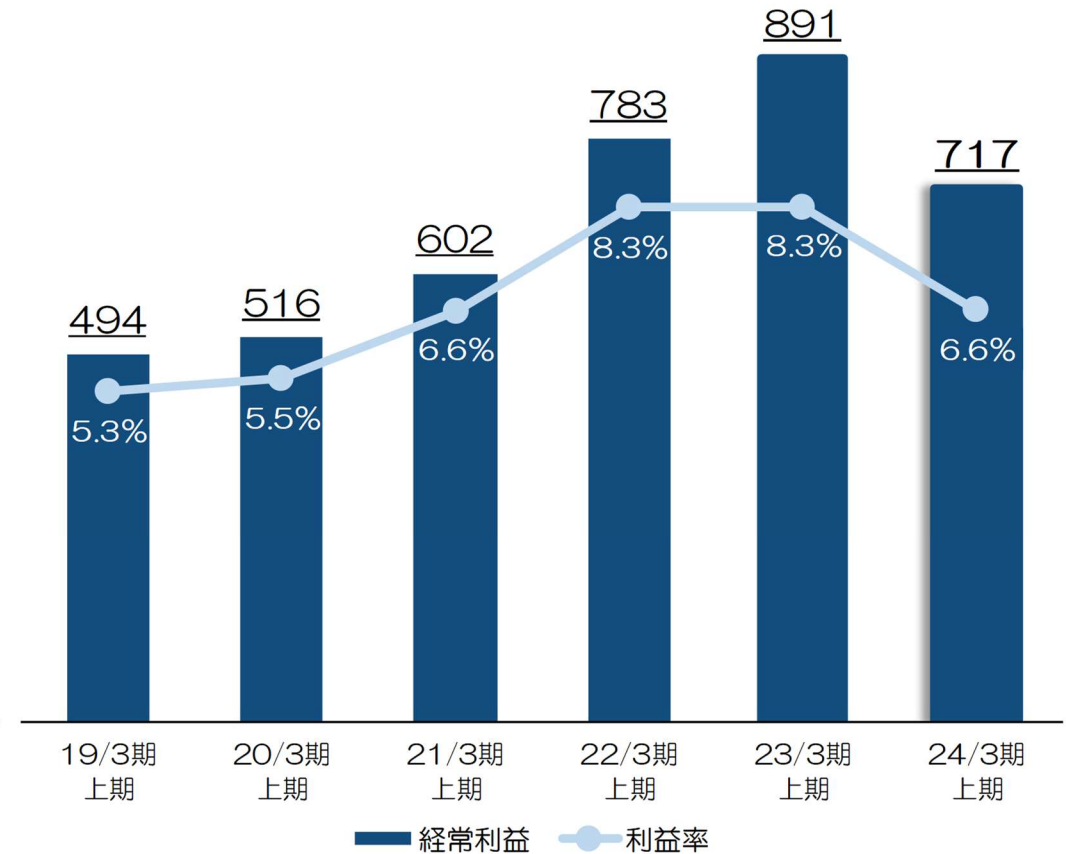
	2023/3上期 実績	2024/3上期 実績	前期比	増減率（%）
売上高	10,736	10,811	+75	0.7
営業利益	710	566	▲144	▲20.3
経常利益	891	717	▲173	▲19.5
親会社株主に帰属する 四半期純利益	630	608	▲22	▲3.5

(単位：百万円)

売上高推移

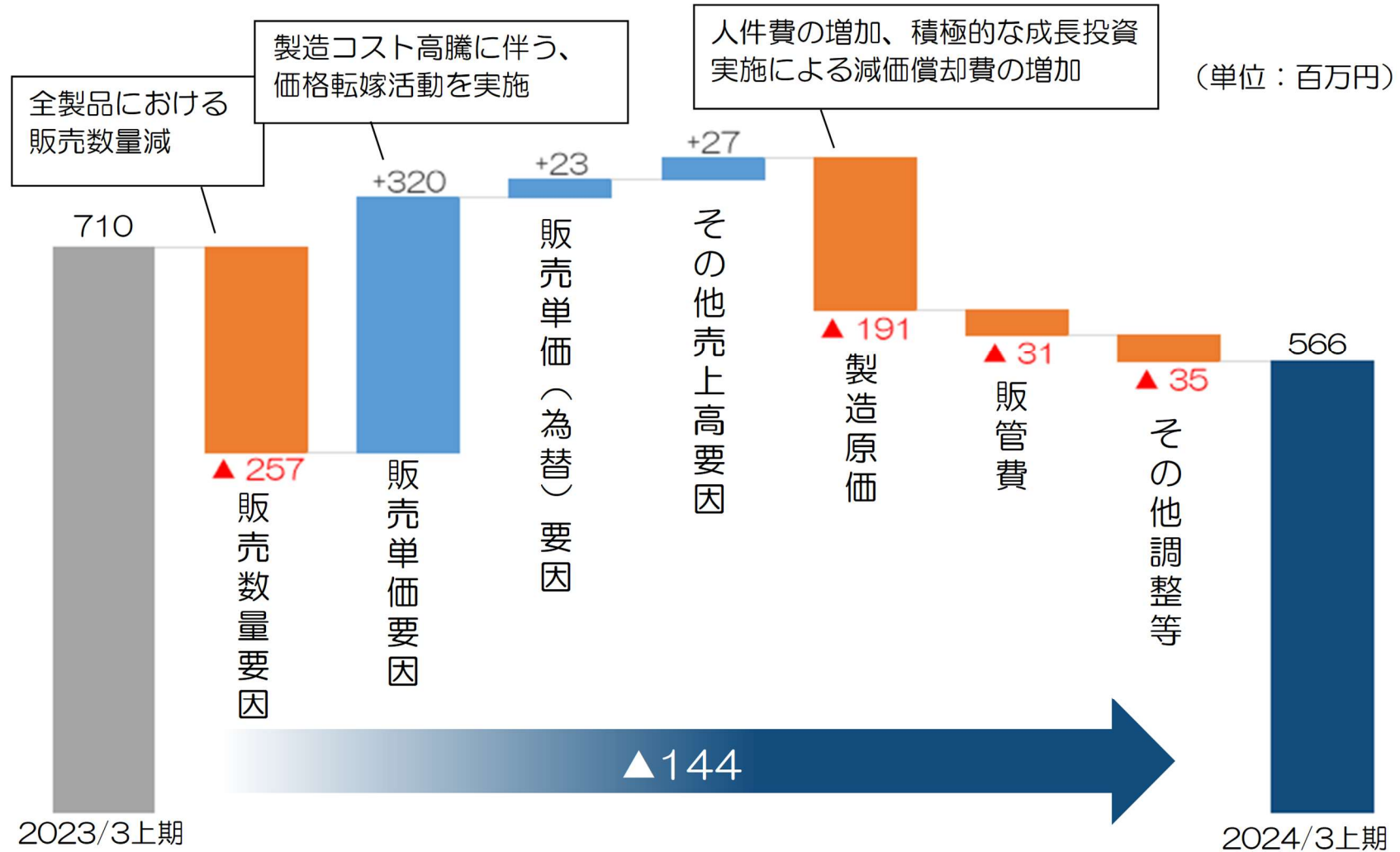


経常利益推移



- 売上高は各製品における販売価格修正の効果もあり、増収となりました。
- 利益は各製品における販売数量の減少、人件費や減価償却費等の製造固定費の増加等により、減益となりました。
- 通期では、増収・増益を見込んでおります。

営業利益変動要因分析



- 全製品において販売価格修正の効果はあったものの販売数量が減少したこと、また、人件費の増加や積極的な成長投資を行ったことによる減価償却費の増加もあり、減益となりました。
- イノベーション活動のスピードアップ、新規・拡販活動の推進、製造コストの削減等により、収益改善に努めてまいります。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2023/3/31	2023/9/30	増減額	増減率 (%)	主な増減要因
流動資産	15,536	15,526	▲9	▲0.1	受取手形、売掛金及び契約資産、原材料及び貯蔵品の減少等
固定資産	10,008	10,053	+45	0.5	機械装置及び運搬具、投資有価証券の増加等
資産合計	25,544	25,580	+35	0.1	
流動負債	7,223	6,548	▲674	▲9.3	電子記録債務、その他の流動負債の減少等
固定負債	1,771	1,756	▲14	▲0.8	その他固定負債、長期借入金の減少等
負債合計	8,994	8,305	▲689	▲7.7	
純資産合計	16,549	17,275	+725	4.4	
負債純資産合計	25,544	25,580	+35	0.1	
自己資本比率	64.6%	67.3%	+2.7%	—	

(単位：百万円)

	2023/3上期	2024/3上期	増減額	増減率 (%)	主な増減要因
売上高	10,736	10,811	+75	0.7	販売価格の修正、パルプモールド製食品容器、キャストフィルムの拡販
売上原価 (原価率)	8,521 (79.4)	8,720 (80.7)	+198	2.3	
売上総利益	2,214	2,091	▲123	▲5.6	製造コスト増加に伴う利益率の低下
販売費及び一般管理費	1,504	1,525	+21	1.4	
営業利益	710	566	▲144	▲20.3	
(営業利益率)	6.6%	5.2%	▲1.4%	—	
営業外収支	180	150	▲29	▲16.3	
経常利益	891	717	▲173	▲19.5	
特別損益	▲8	156	+164	—	八戸工場火災に伴う受取損害保険金172百万円、役員退職慰労金返還額57百万円を計上
税金等調整前 四半期純利益	882	873	▲8	▲1.0	
法人税等	248	265	+16	6.6	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	630	608	▲22	▲3.5	

(単位：百万円)

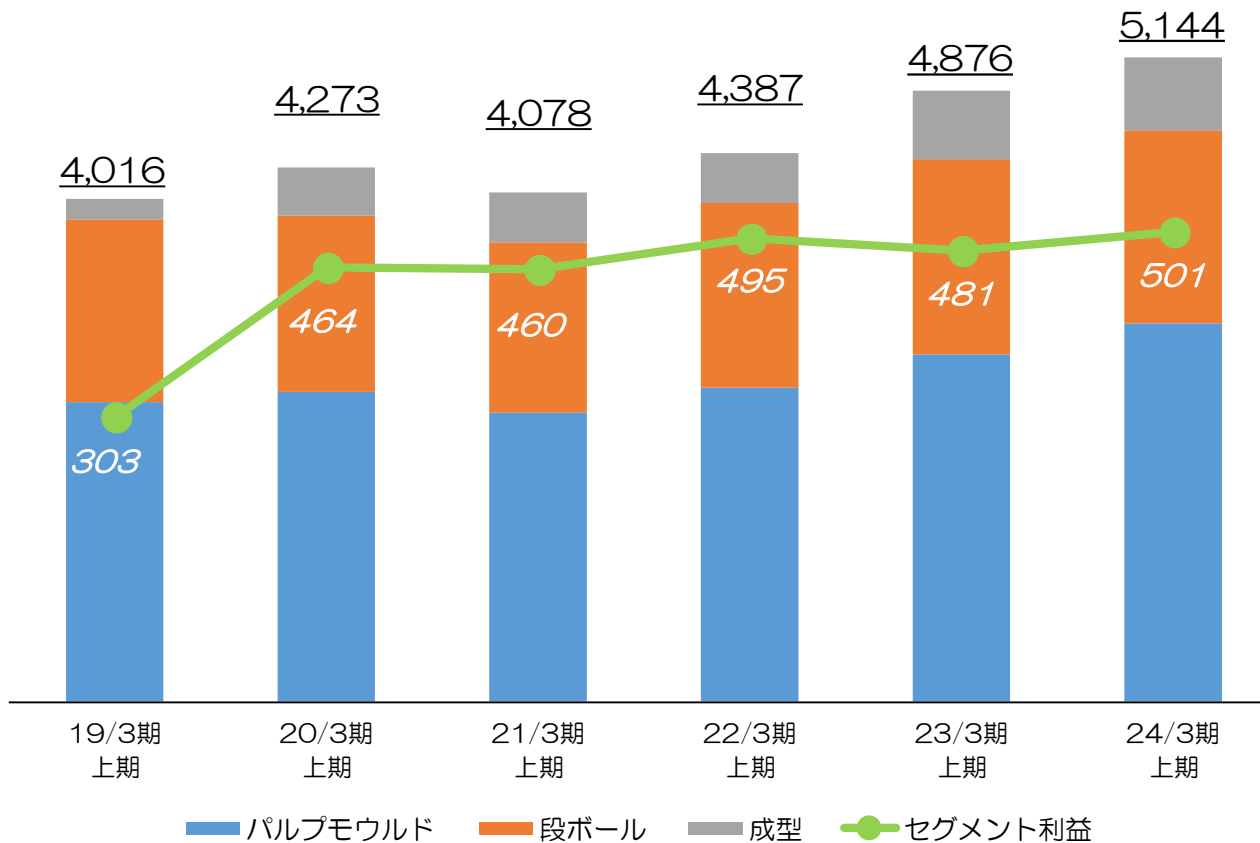
	2023/3 上期	2024/3 上期	増減額	主な増減要因
営業活動CF	735	764	+29	保険金の受取等
投資活動CF	▲454	▲469	▲15	定期預金の預入による支出の増加、無形固定資産の取得による支出の増加等
財務活動CF	▲159	▲297	▲137	短期借入金の減少等
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,762	7,433	▲328	

セグメント別売上高

(単位：百万円)

	2023/3 上期	2024/3 上期	増減額	増減率 (%)	主な増減要因
緩衝機能材事業	4,876	5,144	+267	5.5	
パルプモールド	2,784	3,033	+249	9.0	販売価格の修正、新製品である食品用容器の拡販等により増収
段ボール	1,548	1,529	▲19	▲1.3	販売価格の修正も、販売数量減少により減収
成型	543	582	+38	7.1	販売価格の修正、拡販により増収
包装機能材事業	5,685	5,506	▲179	▲3.1	
フィルム	2,241	2,210	▲30	▲1.4	販売価格の修正も、食品容器向けの販売数量減少により減収
国内重包装袋	1,801	1,825	+23	1.3	販売価格の修正により増収
海外重包装袋	1,641	1,470	▲171	▲10.5	飼料向け、化学薬品向けの需要減により減収
その他	174	160	▲13	▲7.6	
合計	10,736	10,811	+75	0.7	

(単位：百万円)

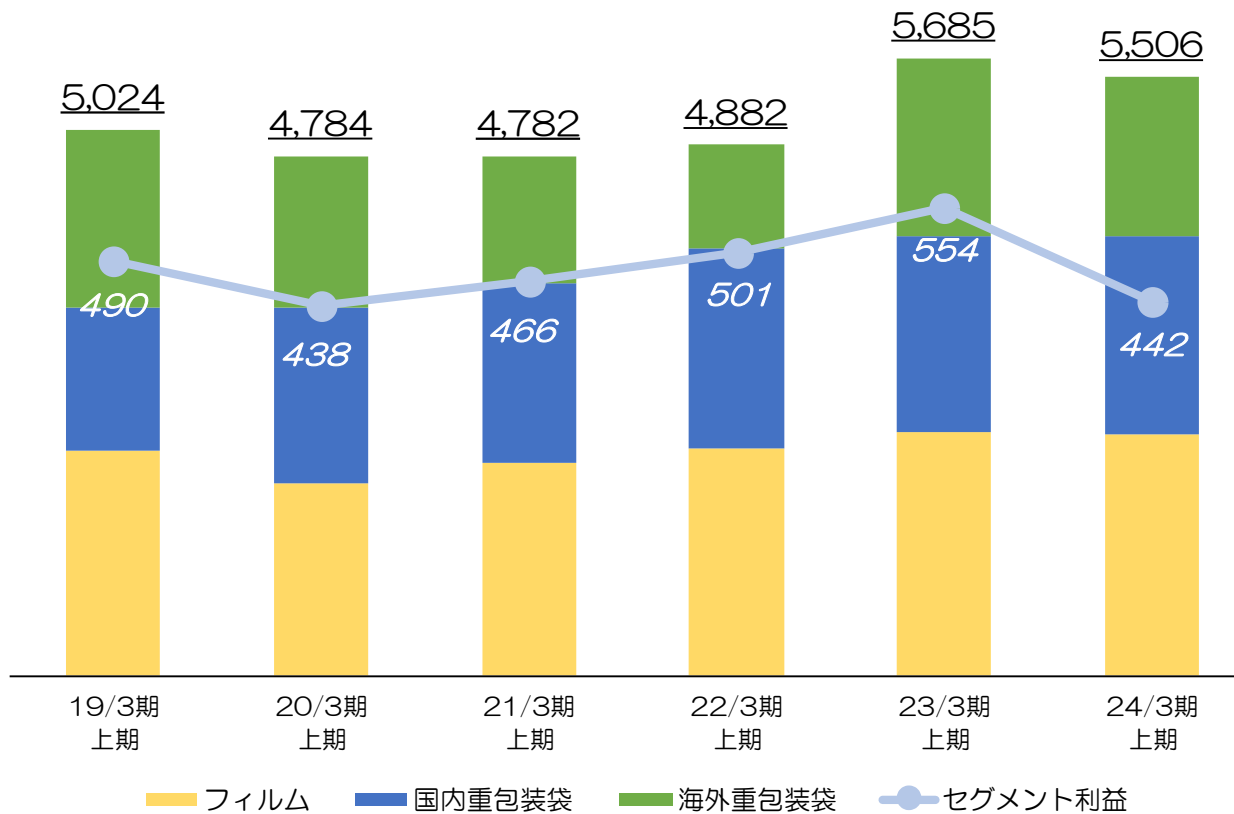


売上高
前年比+267
(5.5%)

営業利益
前年比+19
(+4.0%)

- 売上高は、各製品での販売価格の修正、パルプモールド部門の新製品である食品用容器や鶏卵パックが堅調に推移したこと、成型部門での拡販により増収となりました。
- セグメント利益は、人件費や減価償却費等の製造コスト増加の影響はあったものの、販売価格の修正の効果もあり増益となりました。

(単位：百万円)



売上高
前年比▲179
(▲3.1%)

営業利益
前年比▲112
(▲20.2%)

- 売上高は、各製品での販売価格修正の効果はあったものの、フィルム部門での食品容器向けの販売数量の減少、また、紙袋部門での合成樹脂向けや化学薬品向けの需要減による販売数量減少の影響が大きく、減収となりました。
- セグメント利益は、販売数量の減少、また、製造コスト増加により減益となりました。

3. 2024年3月期 業績予想

2024年3月期 連結業績予想の修正

前年同期比＜増収増益＞

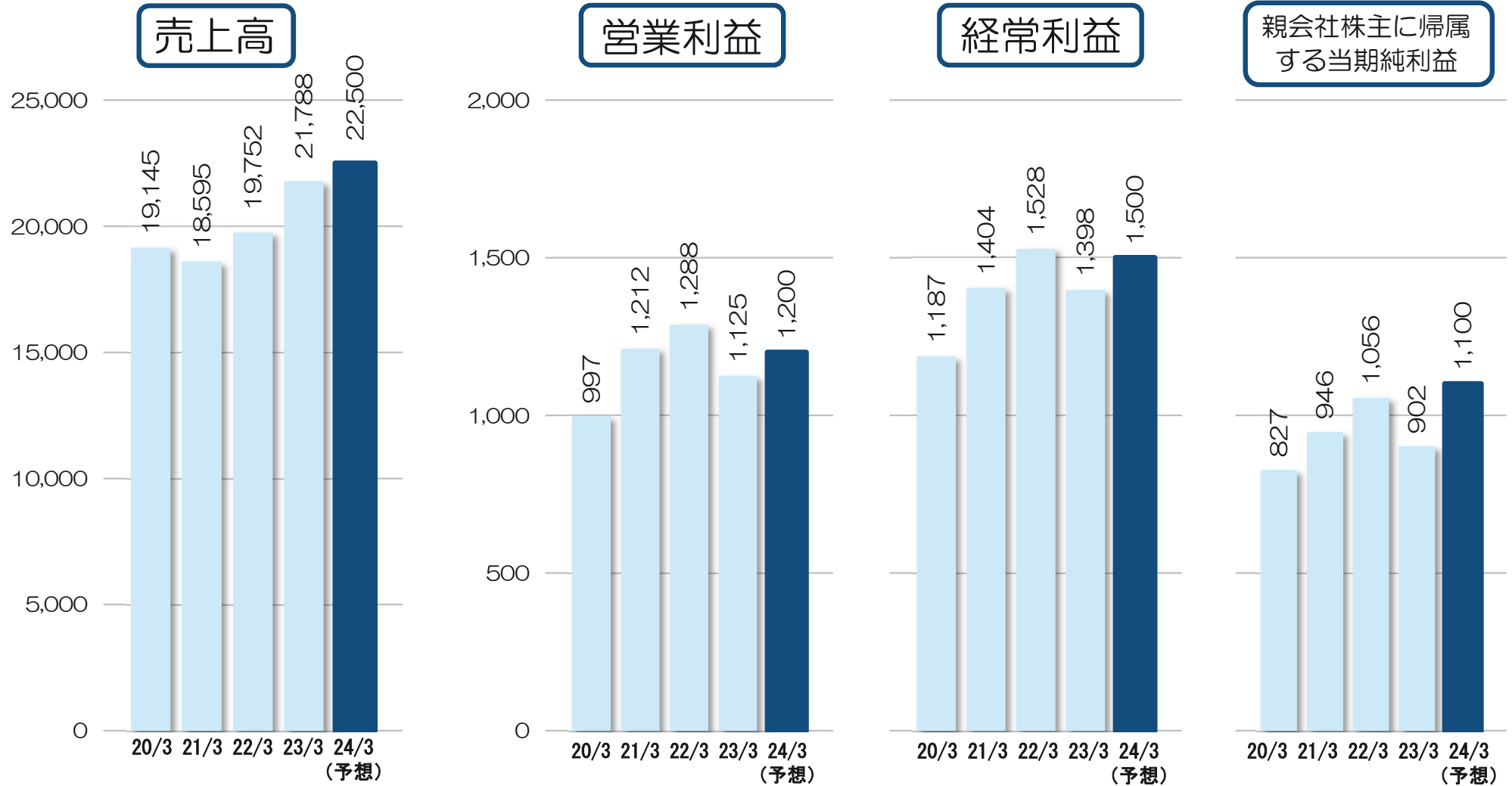
- 今期の通期業績は増収・増益を見込んでおりますが、当初予想より減収・減益の見通しとなりました。
- 中国経済の停滞等に伴う国内外の販売数量減少や製造固定費増加等により、当社を取り巻く環境は依然として厳しい状況が継続すると予想されます。
- 新規・拡販活動のスピードアップ、製造コスト削減を進め、収益改善に努めてまいります。

（単位：百万円）

	当初予想と修正予想の比較				修正予想と前期実績の比較		
	当初予想	修正予想	増減	増減率（%）	23/3期 （実績）	増減	増減率（%）
売上高	24,167	22,500	▲1,667	▲6.9%	21,788	+711	3.3%
営業利益	1,546	1,200	▲346	▲22.4%	1,125	+74	6.6%
経常利益	1,756	1,500	▲256	▲14.6%	1,398	+101	7.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,243	1,100	▲143	▲11.6%	902	+197	21.8%

売上高・利益の推移

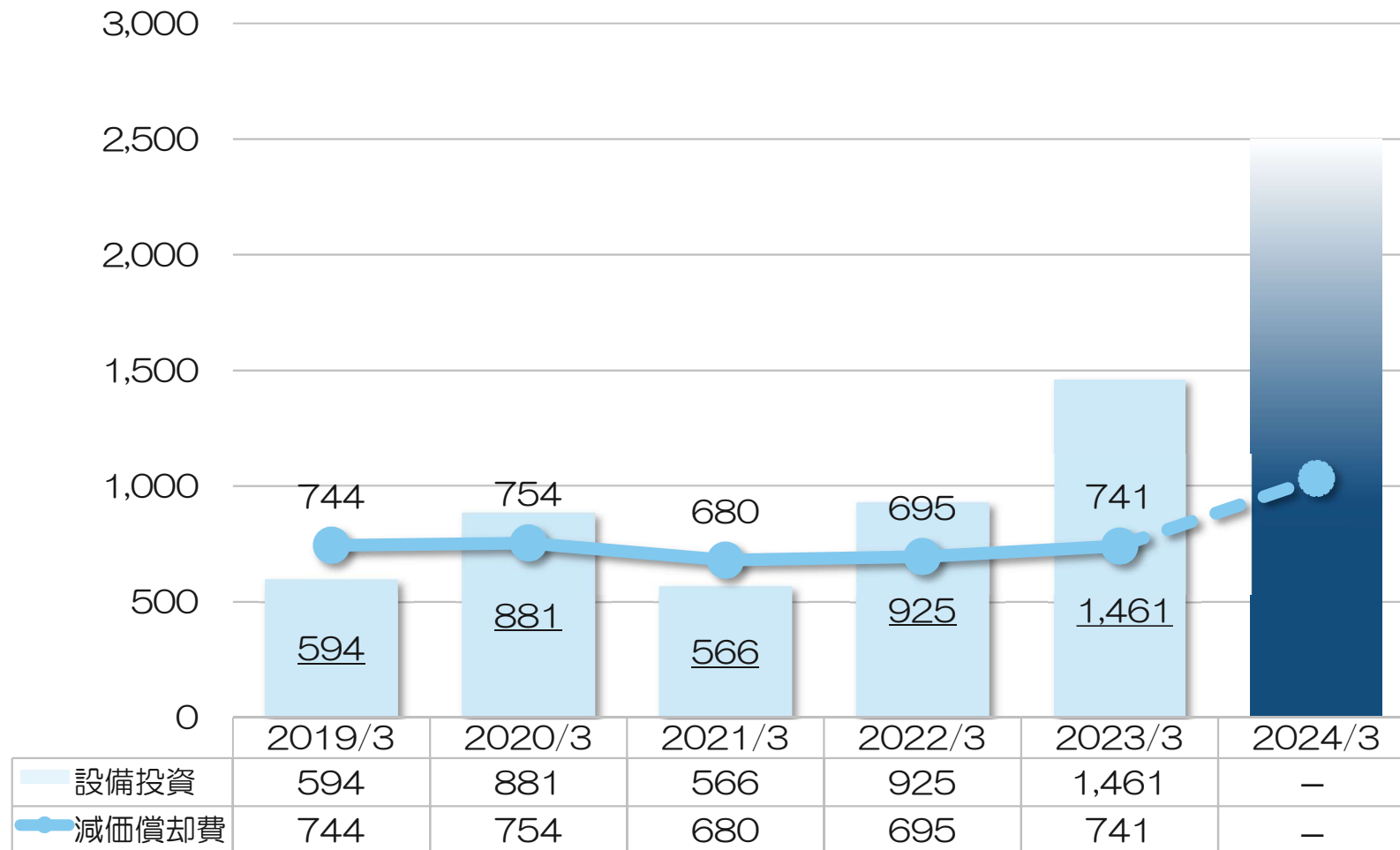
(単位：百万円)



- 売上高、利益ともに増収・増益を見込んでおります。

設備投資額・減価償却費

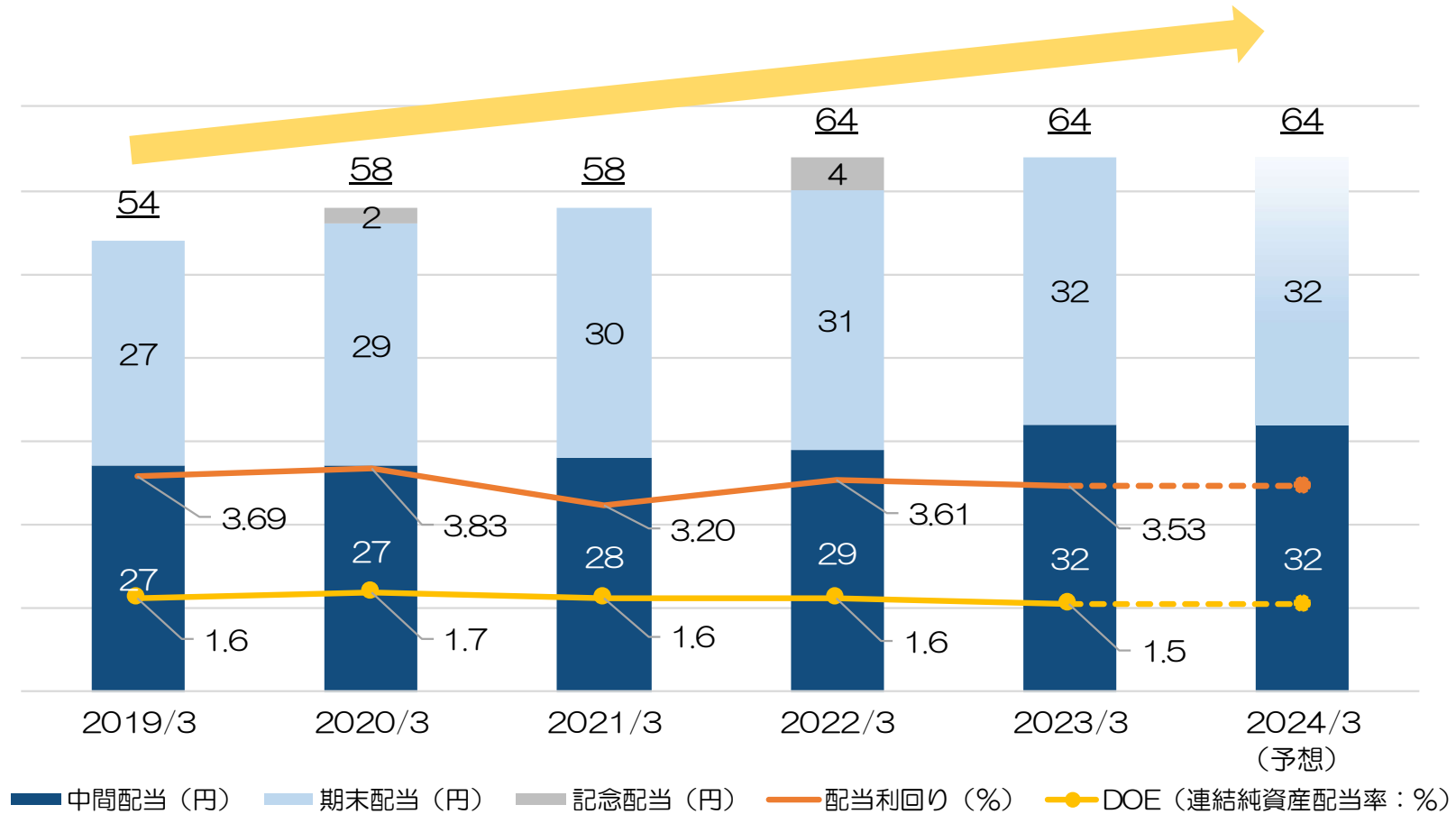
(単位：百万円)



- 期初計画から大きな変更無く、設備投資を実行しております。
- 今期は、フィルム製品製造設備（817百万円）の新設等を計画しております。

4. 株主還元

1株あたり配当金



- 当期の中間配当は1株当たり32円とし、支払開始日は2023年12月1日とすることを2023年11月2日開催の取締役会において決議しております。
- 年間配当は前期と同額の1株当たり64円とさせていただく予定です。
- 当社は安定配当を基本方針としており、1980年の上場以来、一度も減配、無配がなく安定した配当を継続しております。

5. 補足資料

□2023日本パッケージングコンテスト入賞

「パルピーiJ(インクジェット)」が パッケージデザイン賞を受賞しました。2015年の「ゆりかご」の受賞から、9年連続の入賞となりました。



□段ボール事業部直方工場に最新型製函機EVOL機を導入

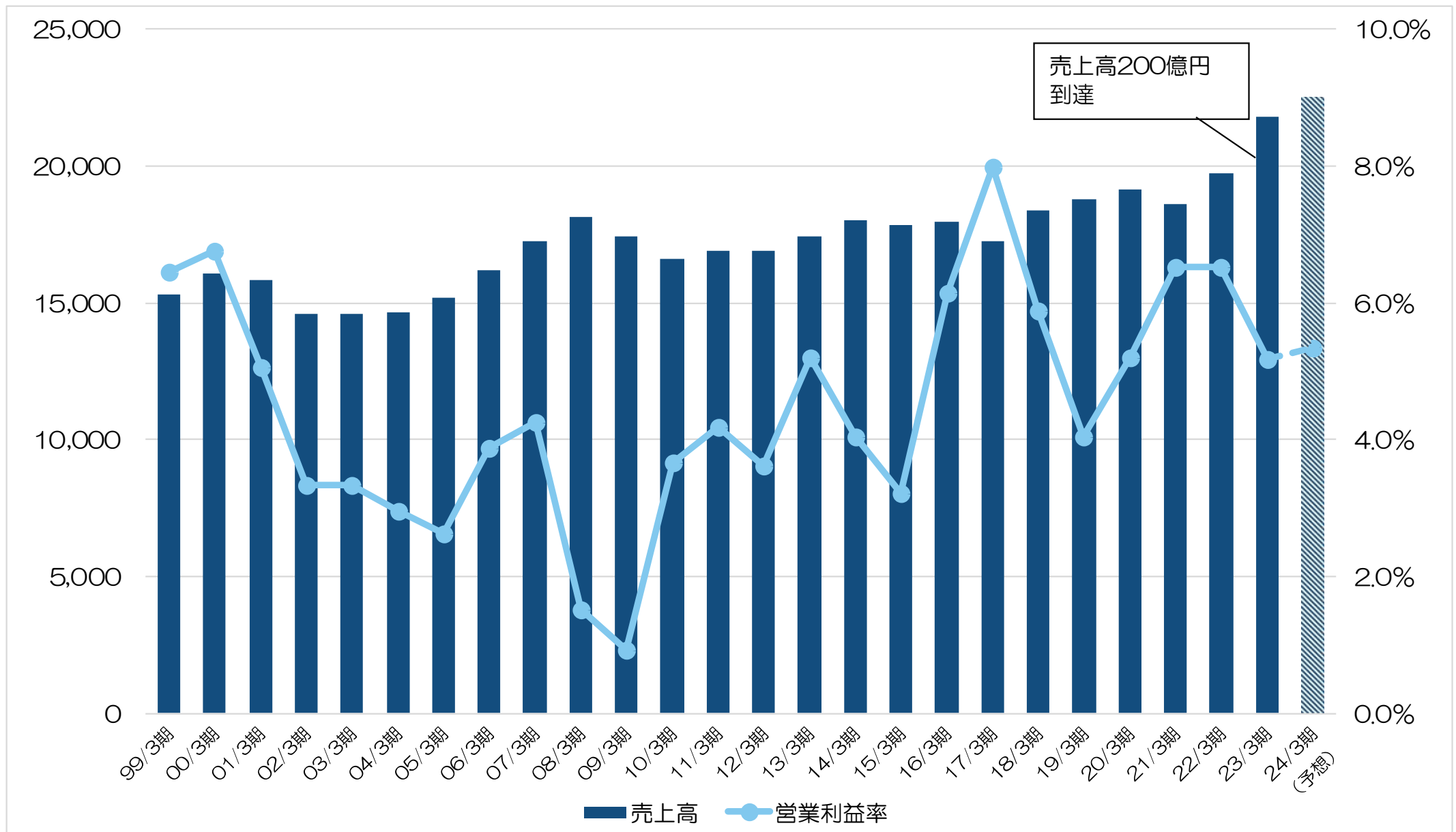
高品質・高精度および高生産性が本機の特徴であり、段ボール事業部のさらなる成長に繋がる大型の投資となりました。今後もお客様の要望に、高い品質とスピード感をもってお応えできるよう邁進してまいります。



□「まつり八幡東2023」にアルエコ出展

ジ・アウトレット北九州にて開催された「まつり八幡東2023」に当社のパルプモールド移動式リサイクル工場「アルエコ」を出展いたしました。今後も積極的に当社の魅力を発信してまいります。





社名	大石産業株式会社
設立	1947年（昭和22年）2月
所在地	〒805-0068 福岡県北九州市八幡東区桃園二丁目7番1号
資本金	466,400,000円
株主数	3,075名
決算期	3月
従業員数	354名（グループ 588名）
連結子会社	CORE PAX(M) SDN.BHD.、ENCORE LAMI SDN. BHD.、 柳沢製袋株式会社、株式会社アクシス

※2023年9月末時点

大石産業株式会社

OHISHI SANGYO CO., LTD.

四半期決算短信及び本資料は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

本資料の将来に関わる一切の記述内容は、現時点で入手可能な情報に基づく当社の判断によるものですが、現状または将来のリスクや不確実な要素が含まれています。

また、実際の業績は経済情勢の変化、法的規制の変化、自然災害等により変動する可能性があります。